

心と体を優しくケアする 特別養護老人ホームと 地域密着型介護施設 設置事業者を募集

■特別養護老人ホーム

来年度に特別養護老人ホームを設置する事業者を募ります。

対象＝社会福祉法人

案内の配布＝市役所介護高齢課か本市ホームページで

申し込み＝7月15日(木)～22日(木)に同課(☎898-6152)へ直接

■地域密着型介護施設

次の圏域で地域密着型介護施設を設置する法人を募集。選定されると国の交付金を活用した支援が受けられます。

対象圏域＝①文京・南部・南橋②若宮・城東・中川

サービス種別＝①は認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設施設②は認知症対応型共同生活介護

案内の配布＝市役所介護高齢課か本市ホームページで

申し込み＝5月13日(木)～20日(木)に同課(☎898-6132)へ直接



健康な毎日のために早めの一手 予防接種を忘れずに

本市では麻しん風しん予防のため、無料で予防接種を行っています。生後24カ月までの子どもと年長児のほか、中学1年生と高校3年生も接種対象。麻しん風しん排除のためにも、必ず接種しましょう。

また、そのほかの予防接種には費用の一部を助成しています。詳しくは医療機関と相談して接種してください。

問い合わせは 衛生検査課 ☎220-5779

費用は無料 麻しん風しん予防接種

麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を無料で行っていきます。該当者は来年3月31日(木)までに忘れずに接種しましょう。

接種場所＝市内医療機関

対象＝**第1期** 1歳児 **第2期** 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人 **第3期** 平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの人 **第4期** 平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの人



費用の一部を助成 ヒブワクチンなどの予防接種

各種予防接種費用の一部を助成します。医療機関には助成後の費用を支払ってください。助成はそれぞれの予防接種で1人1回です。

接種場所＝市内医療機関

■ヒブ(Hib)ワクチン

対象＝2歳未満の人

助成金額＝2,000円

■おたふくかぜワクチン

対象＝2歳以上4歳未満の人

助成金額＝3,000円

■肺炎球菌ワクチン

対象＝75歳以上の人

助成金額＝1,000円

赤い羽根募金の配分 申請を受け付けます

赤い羽根共同募金を社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体などへ配分します。詳しくは、県共同募金会ホームページ(<http://www.akaihane-gunma.or.jp>)をご覧ください。

申し込み＝5月10日(月)までに所定の申込用紙に記入し、見積書・定款などの必要書類を添えて共同募金会前橋市支会(市役所いきいき生活課内☎898-6237)へ直接



自然治癒力を高めて健康にはり・きゅうなどの 割引券を交付

はり・きゅう・マッサージサービスの割引券(1人6枚、75歳以上は7枚)を希望する人は申請してください。なお、昨年度の利用者へは郵送していますので申請は不要です。施術ごとに割引券のほか1,000円、出張施術には別に費用が必要です。

対象＝昭和16年3月31日以前生まれの人(医師の同意に基づき保険診療を受けている人は除く)

申し込み＝介護高齢課☎898-6134へ



「治療する医療」から「予防する医療」に

予防接種をすることで期待できる効果は大きく分けて2つあります。1つは感染症にかかりにくい、万が一かかったとしても重症化を防ぐことができるということです。もう1つは多くの人たちが接種することで、感染症を排除できるということです。

感染症を排除するには、予防接種率を95%以上にすることが必要といわれています。昨年の本市の麻しん風しん予防接種率は第1期の1歳児と、第2期の年長児では95%を越えましたが、第3期の第1、第4期の高3では、残念ながら95%を越えていません。対象者全員が1日も早く接種することが望まれています。

ワクチンは体の中に病原体を入れ、人の免疫力を生かして抗体を作ります。これにより感染症にかかりにくい体になっています。病原体は十分に毒性を弱めてあり、人によって多少の副反応が出る場合がありますが、発症することはありませんので安心してください。

これからは「予防する医療」の時代です。予防できる病気が積極的に予防していくことで、病気になるのを防ぐことができます。発症しても重症化を防ぐことができます。これは医療費の削減にもつながります。無料で受けられる麻しん風しんはもちろん、市から助成のあるヒブやおたふく、肺炎球菌についても予防接種を受けて、健康で幸せな生活を送りましょう。

前橋市医師会
須田 浩充 理事

